

門真市人口ビジョンの概要

平成27年10月 総合政策部企画課

【門真市人口ビジョンとは】 将来展望期間：平成52（2040）年

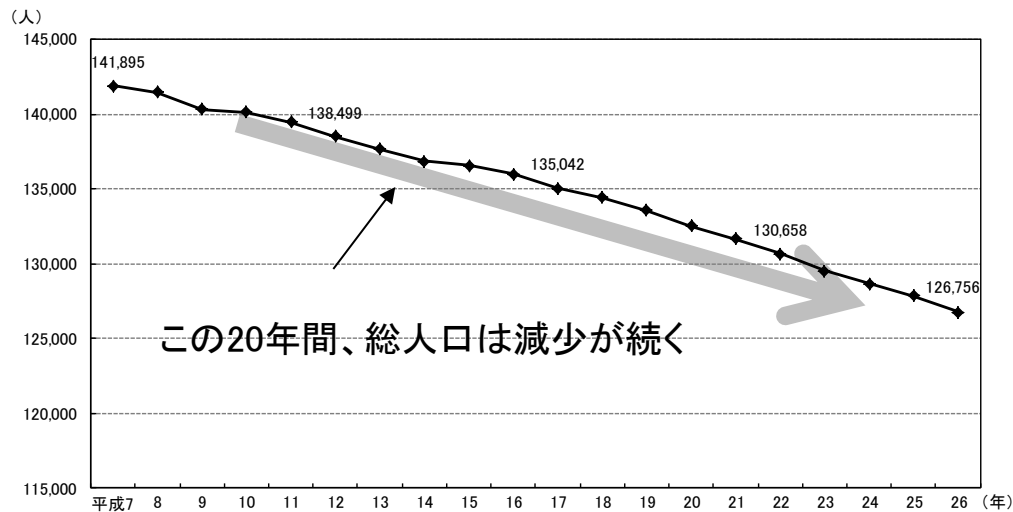
門真市における人口の現状分析を行い、人口問題に関する認識を市民と共有し、今後めざすべき将来の方向と人口の将来展望を示すもの

【門真市人口ビジョンの3つの基本的視点】

- ①子育て環境を充実し、若い世代が出産・子育ての希望を実現できるまちをめざします。
- ②市の魅力を高め、若い世代・子育て世帯が移住・定住したいと思えるまちをめざします。
- ③人口減少社会に的確に対応し、住んで、みんなが幸せを実感できるまちをめざします。

【人口動態について】

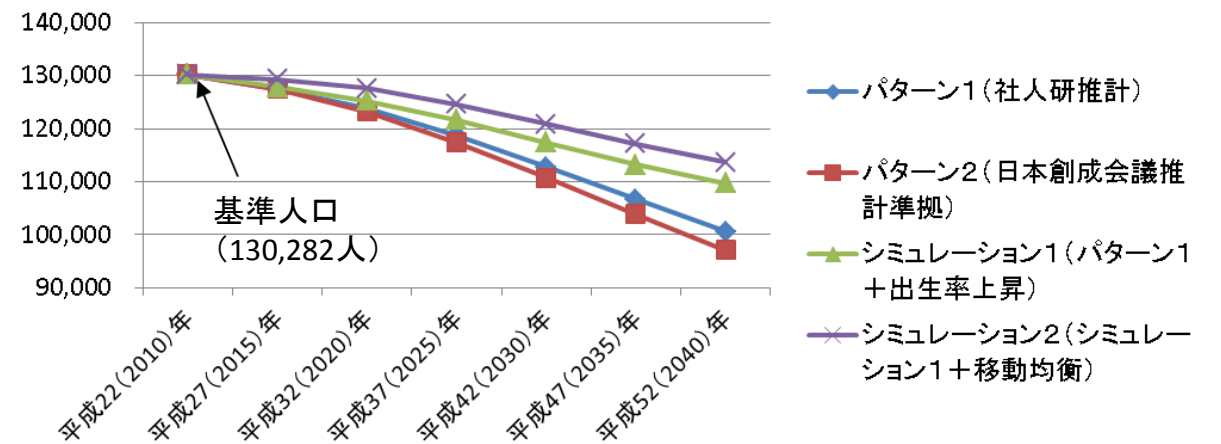
○門真市の総人口の推移（住民基本台帳人口）



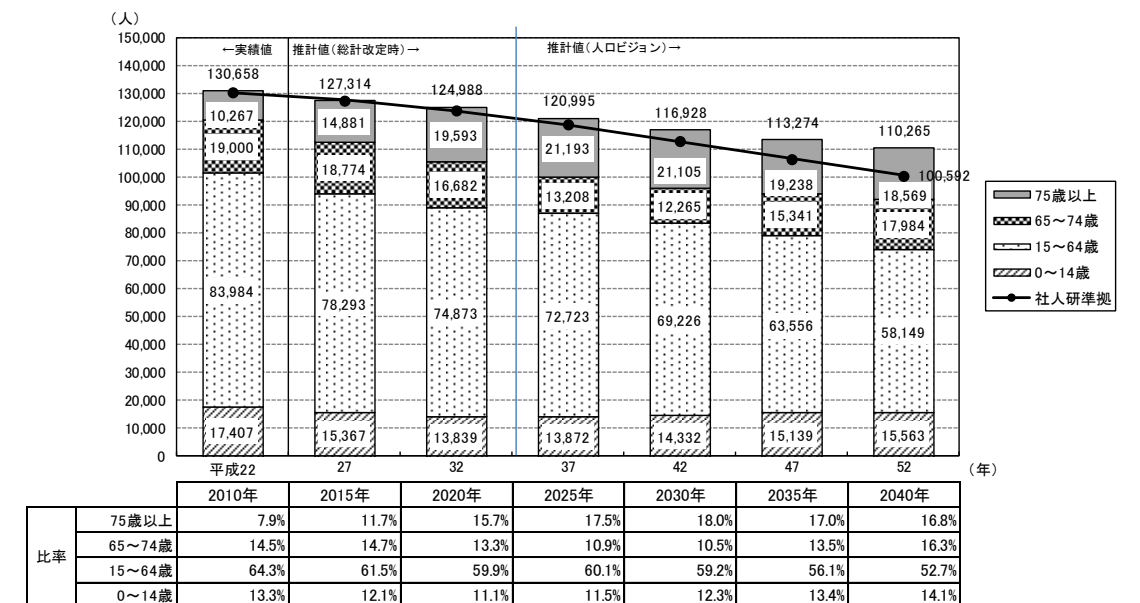
○門真市の人口動態の特徴

- 年少人口及び生産年齢人口は減少傾向にあり、65歳以上の人口は増加傾向にある。
- 高齢化率は全国や大阪府に比べて低かったが、最近では大阪府を超えている。
- 自然増減については減少傾向が続き、減少の幅が広がっている。
- 合計特殊出生率は減少傾向にあり、大阪府とほぼ同様の値になっている。
- 大阪府内で比較すると相対的に、15歳～24歳の母の出生率が高く、30歳～39歳の母の出生率が低い。
- 社会増減についても減少傾向が続いている。
- 転入・転出先は70%近くが大阪府内であり、東京圏からの転入・転出は5%程度である。
- 転入・転出については、20歳代後半～30歳代において大幅な転出超過の傾向にある。
- 総人口は一貫して減少傾向にあるが、その要因は社会減少から自然減少へ移りつつある。
- 産業別就業者では建設業、製造業、運輸業・郵便業などの就業者比率が全国に比べて高い。
- 夜間人口よりも昼間人口の方が多く、その比率は拡大傾向にある。平日と休日に差がある。
- 門真市で従業する人が、門真市以外に住む傾向が強くなっている。
- 常住人口に対する滞在人口比率が高い。

【人口推計のシミュレーション】



【人口の将来展望】



平成52（2040）年の人口は約110,000人を見込み